

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 23 年 3 月 7 日(月) 受付分より

《検査要項》

検査項目名称	尿酸排泄率	尿中尿酸排泄量
検査コード	7153	7154
検体量	血清 0.6mL および尿 1.0 mL	尿 1.0mL
容器・保存	(血清) A1 A2 (尿) U1・冷蔵	U1・冷蔵
所要日数	1 ~ 2 日	
検査方法	計算法 ^{*1} (尿酸クリアランスとクレアチニン・クリアランスより算出)	計算法 ^{*2} (尿中尿酸より算出)
基準値	5.5 ~ 11.1%	0.483 ~ 0.509mg / Kg / h
実施部署	各基幹研究所	

$$*1 : \frac{[\text{尿中尿酸濃度}] \times [\text{血清クレアチニン濃度}]}{[\text{血清尿酸濃度}] \times [\text{尿中クレアチニン濃度}]} \times 100\%$$

$$*2 : \frac{[\text{尿中尿酸濃度 (mg/dL)}] \times [\text{60 分間尿量 (mL)}]}{100 \times \text{体重 (Kg)}} \text{ mg / Kg / h}$$

《補 足》

- ・尿酸排泄率(7153)の依頼によりクレアチニン(7640)、尿クレアチニン(7641)、尿酸(7642)、尿中尿酸(7643)が自動発生します。
- ・尿中尿酸排泄量(7154)の依頼により尿中尿酸(7634)、尿量(7644)、体重(7645)が自動発生します。

《尿中尿酸排泄量と尿酸クリアランスによる病型分類》

病 型	尿中尿酸排泄量 (mg / Kg / h)	尿酸クリアランス (mL / 分)	
尿酸産生過剰型	> 0.51	お よ び	6.2
尿酸排泄低下型	< 0.48	あ る い は	< 6.2
混 合 型	> 0.51	お よ び	< 6.2

《 解 説 》

尿酸排泄率：尿酸排泄低下型では、尿酸排泄率は低値を示します。腎機能の影響を補正するためクレアチニン・クリアランスの測定も併せて行います。

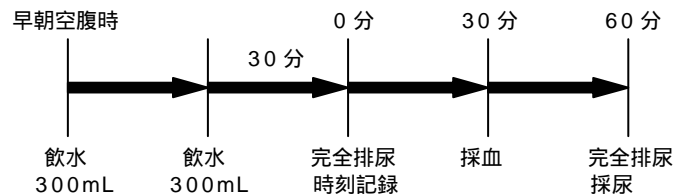
尿中尿酸排泄量：0.51mg / Kg / hより大きいと尿酸産生過剰型と分類されます。

参考文献：高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン 第1版，2002年

《検査実施方法》

尿酸排泄率

- 1.早朝空腹時、水 300mL を飲水。
 - 2.検査直前に水 300mL を飲水。
 - 3.飲水 30 分後に完全排尿し、排尿完了時刻を正確に記録。(時間測定開始)
 - 4.測定開始 30 分後、採血 3mL 実施。...
 - 5.測定開始 60 分後、完全排尿して正確に尿量を記録し、そのうちの 1mL 以上を採取し、検体として 1mL を出検。...
- 注意) 検査当日は絶食
提出) 身長・体重を明記した容器 と、全尿量を明記した容器。



尿中尿酸排泄量

- 1.早朝空腹時、水 300mL を飲水。
 - 2.検査直前に水 300mL を飲水。
 - 3.飲水 30 分後に完全排尿し、排尿完了時刻を正確に記録。(時間測定開始)
 - 4.測定開始 60 分後、完全排尿して正確に尿量を記録し、そのうちの 1mL 以上を採取し、検体として 1mL を出検。...
- 注意) 検査当日は絶食
提出) 身長・体重・全尿量を明記した容器。

